

みらい通信

第23号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所
連絡先 〒028-3318
岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2
電話 019-671-2244
FAX 019-671-2243
Email miraiken@shiwa-mirai.com
URL <http://www.shiwa-mirai.com>
発行日 平成19年11月20日

紫波の食をおいしくつくる

参加者募集!

紫波には、生産者が苦勞してつくっているおいしい食がたくさんあります。私たち消費者はその食を使って料理をつくります。

「どんな人が食べているの?おいしく食べてくれているかな?」

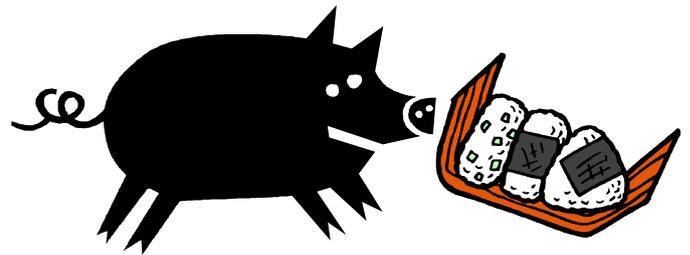
「誰がつくっているの?どんな苦勞があるの?どんなふうに作ればいいのか?」

こんな思いを持ち寄って交流してみませんか。

今回、私たちは「しわ黒豚」に注目しました。

紫波町では15戸の生産者がいるそうです。その生産者の中から「熊谷富民子さん」においでいただき、お話を伺います。黒豚を使ったレシピも紹介します。

当日は、豚汁とおにぎりを用意します。



日時 12月6日(木) 午前10時~12時
場所 紫波中央駅北側待合施設
参加費 一人500円(材料代、講師料として)
定員 先着20人
申込 12月1日(土)までに紫波みらい研究所にご連絡ください。

12月定例会

12月定例会は忘年会を開催します。この1年を振り返りながら交流を深めましょう!

日時 12月12日(水)18時30分

場所 紫波グリーンホテル

会費 3000円

参加される方は12月4日(火)までに紫波みらい研究所にご連絡ください。

空き瓶、ロウソクを集めています!

紫波みらい研究所では、1月に行なわれる「紫波冬まつり」に夢灯りを出展します。夢灯りを作るため、ジャムやコーヒーなどの口の広い小さな空き瓶とロウソクを集めています。ご家庭で余っているものがあれば、ご協力お願いします。

みんな集まれ環境・循環PRセンター エコスクール開催

毎週木曜日に環境学習を行ないます。実験、工作を交えた、大人から子どもまで楽しんで学べる教室です。ぜひ皆さん参加しませんか。スタッフも大募集です!



せっけん作りの様子

11月の予定

コネコネマイせっけんでマイせっけんづくり

日時 15日、22日、29日(毎週木曜日)

15時~17時(常時参加できます)

参加費 無料です!

場所 紫波町環境・循環PRセンター
(JR紫波中央駅北側)



平成の森共生植林

動物と共生する森を創ろう！



開催しました

10月13日(土)平成の森 参加人数 52人

参加者の皆さんに、平成14年から植えた木の生育状況などをマップにしてもらい、その後、みんなで「動物と共生するための森の設計図」を完成させました。

車椅子でも入れる遊歩道、ピクニックの途中で昼食を食べるためのベンチやブランコもありました。桜の大木もあるので、春にはベンチでお花見もできます。

そばの木に「クマの爪あと」がありました、栗の若木に実がついていたので、きっと食べにきたのかも...。「くまはここでどんな生活をしているんだろう」そんなことに想いをめぐらすことのできたひとときでした。

また、こんにゃくの絞りかすから作った苗木ポット(土に戻すと分解する)にどんぐりを植え、

来年平成の森に植えるまで「どんぐり」の里親として家庭で育ててもらうことにしました。

お昼には、あぐりちゃやの細川栄子さんが「しわ黒豚」を使ってつくった豚汁を食べながら、食育のお話を聞きました。



どんな森にしようかな？



どんぐりがちゃんと育ちますように



ぼくとどっちが早く大きくなるかな？

参加者の声(抜粋)

- ・自然を守ろう、環境汚染を防止しようと口で言うだけなら簡単です。具体的なこういう企画は本当に素晴らしいと思います。参加できて楽しかったです。
- ・紫波町にこのようなところがあることを知りませんでした。苗木も自分で植えたので親しみがわきます。来年が楽しみです。
- ・マップを作ったりミズキを植えたりしてとても楽しかったです。どんぐりがどのように育つか楽しみです。昼ごはんには豚汁を食べるとてもおいしかったので、また食べたいなと思いました。
- ・子どもがどんぐりをたくさん拾ったので活用できないかと参加しました。森に入るのも久しぶりでしたが、子どもたちも虫などを見つけたり、楽しんでいたので参加してよかったです。豚汁も大変おいしくて満足しました。どんぐりポットは大事に育てていきたいです。

第17回環境探検隊

森とあそぼう！

開催しました

11月3日(土) 山屋地区山祇神社 参加者 30人



森に入る前に、うさぎやきつねになったつもりで「見る」「聞く」「気づく」などの五感クイズを行ないました。その後で、森に入った子どもたちは、虫を見つけたりまたたびの実を食べたりして晩秋の森を楽しそうに散策していました。

森のクイズや散策でお腹をすかせた子どもたちは、「とってはなげ」のひつつみづくりに挑戦し、自分たちの作ったひつつみ汁をおいしそうに食べていました。



森の中にせもの探し



ひつつみづくりに挑戦！



おつかれさまでした～！

【会員の声】

肌寒い空模様で雨もパラついたりしましたが、みんな楽しく木々を見たりゲームをして楽しかったです。舞茸のたくさん入った「ひつつみ」も子どもたちのお手伝いでおいしく仕上がりました。私も大変参考になり、地域の行事に役立てたいと思っています。

今回の会場は杉林だったのですが、森林での遊びは雑木林のほうがいいのではと思います。木々の種類や大小や色彩が豊富でキノコなども見つけやすいと思います。でもマタタビの実がたくさんあって食べることも出来てよかったです。参加する親子の皆さんも、もう少し多くてもいいと思います。

これからも出来る限り参加し、少しでも役立ちたいと思っています。

会員 佐藤 春男

参加者の声(抜粋)

Qあなたが気づいたことは？

- ・プラスチックのゴミが何個あるかというゲームをして葉っぱに良く似たプラスチックを見つけるのが難しかったです。
- ・初めて山に登ったけれど、思ったより大変でした。
- ・紅葉がきれいでした(緑～赤のように)

Qうれしかったこと、満足したことは？

- ・なぜ紅葉するのかということの前から不思議に思っていたので、知ることができてうれしかったです。
- ・森の中で色々な植物を見ることができました。
- ・孫2人との参加でしたが、自然を愛してくれることを知ったし、とても素晴らしい空気をいただくことが出来ました。

Q不満に思ったこと、悲しかったことは？

- ・もう少し自然観察が多ければよかった。
- ・少しだけけどゴミが落ちていた。
- ・熊が出るんじゃないかと思った。

第24回紫波町産業まつりに出展しました

10月20日(土)～21日(日) 参加者 80人

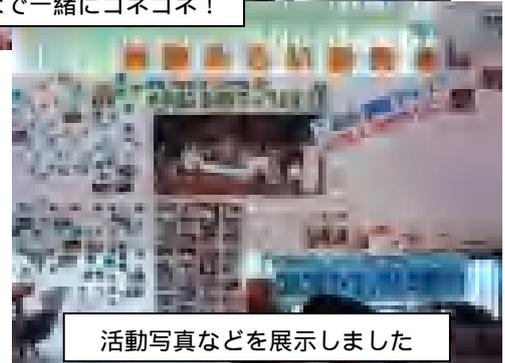
平成の森共生植林の活動写真、植生マップ&設計図の展示や湧水の場所聞き取り、コネコネマイせっけんづくりを行ないました。たくさん子どもや親子が集まり、楽しみながら環境のことを知ってもらいました。

参加者の声

- ・コネコネせっけんをやって想像がどんどんわいてきて楽しかったです。
- ・紫波町の未来のために真剣に環境問題を考えようと思いました。ありがとうございました。楽しかったです！
- ・油で石けんができると聞いてびっくりしました。
- ・川をきれいにするせっけんだったので魚の形にしました。



みんなで一緒にコネコネ！



活動写真などを展示しました

マックスバリュ紫波店様から 掃除機を寄贈していただきました

10月22日、マックスバリュ紫波店様から「幸せの黄色いレシートキャンペーン」により、掃除機を寄贈していただきました。

心より感謝申し上げます。

「幸せの黄色いレシートキャンペーン」とは

イオングループ店で地域のボランティア団体などの名前と活動内容を書いた投函BOXが置いてあります。毎月11日にレジ精算時に受け取った黄色いレシートを、応援したい団体の投函BOXへ入れると、お買い上げ金額合計の1%が地域のボランティア団体などの希望する品物で寄贈されるというキャンペーンです。



寄贈品を受け取る阿部理事長



いただいた掃除機

お知らせ

みらい通信は今月から、メールアドレスを登録している方にメールで配信します。

メールでご希望の方は事務局までご連絡ください。

会員数

個人会員 91人
個人会員 4団体
賛助会員 4団体